

●**ホタルの夕べと里山音楽会のための整備 草刈り作業 深田さん大奮闘** 深田前理事長は里山農園で10日に開催するホタルの夕べと里山音楽会に向けて、17号18号19号の草刈りを5日間連続して行っていただきました。そのうち19号の観察棟は1mごとに単管の柱が立っていますので、草刈り機ではなかなかうまく刈り取れない難所です。また、周囲には榎が乱立しており草刈機の取り扱いが難しく時間のかかる場所です。そして連日天気良く気温も高くなり、体力の消耗も激しく、厳しい作業が続きました。音楽会と続くオオムラサキ観察会場整備に頑張ってくださいました。ありがとうございました。

●**ホタルの夕べと里山音楽会 10日 マムシを確認** この日の出席参加者は23名でした。14時にはかなりの皆さんが集まり、森島さんが用意してくれた竹で、竹ぼっくり作りをしました。お父さんやお母さんにも手伝ってもらい完成させました。はじめは足を乗せたとなんに倒れますが、お父さんの手助けもあって徐々に乗り越え、楽しいひと時となりました。音楽会ではシュタイナーの4年生が頑張ってバイオリン発表がありました。ハラハラドキドキの緊張感をもって演奏に聞き入りました。それでも聞きなれた曲の演奏では自然と口ずさみかひろがり、音楽のすばらしさが発揮され一体感が醸し出されました。頃合いを見て森さん伊藤さん芳川さんが心を込めてご飯を炊き、刻んできた具を入れた**カレーがふるまわれました**。里山の皆さんは朝からナラ枯れ木の整頓や草刈りの後で、音楽を聴き、美味しいカレーをいただき、耳もおなかも、まさに満腹で、すっかり癒されました。日頃は大勢の皆さんと一緒に食事をする機会はほとんどなく、ワイワイと楽しいひと時でした。印象に残ったのは初参加で中国から来られている堀さんが、ひょうたん小学生の笛(リコーダー)を差し込んだような楽器で中国の歌を演奏されたことでした。そして美声をもって斉唱いただいたこと、続き「舞踏」まで披露され大きな拍手が響きました。来年も出演しますとお聞きしています。あと片付けながら19時30分ごろに最も期待されている蛍の夕べ観察会に移動しました。小さいお子さんは眠くても、よく我慢してくれました。今年の出現は例年になく多かったようです。坂道を歩く目の前を飛んでくれて感激されたようでした。8時10分が最盛期です。

●**京田辺市議会を傍聴 12日** 私の知っている限りでは、京田辺市の議会で生物多様性に基づく質問は初めてだったようです。京田辺市の環境行政について質問があるとお聞きしたので里山の会から6名が傍聴に伺いました。はじめて議会の傍聴に出席した方は、あれくらいのものかとの感想で期待がはぐらかされたようにお聞きしました。質問は精一杯研究されているのはよく伝わったのですが、答弁者の回答に全く熱意がこもっておらず、市政における自然環境問題への取り組みの弱さが際立っていました。環境パートナーシップというサークルに支援をしているというくらいでした。

●**ナラ枯れの玉切り木の収集に8名参加** 10日の午前中に整頓しようと8名の方が集合していただきました。それぞれが太くて重くて扱いにくい大物を収集し積み上げくれました。小枝も整理いただきました。しかし玉切りができていな大木が残り、横たわっていて、簡単に整理できないというのが感想でした。山の斜面に切り倒した物は重くてピクリともしない大物が残っています。チェンソーで挑戦しても非常に硬く、目立ての時間が必要で、片付けるにはさらに手間がかかります。

●**ホタルの集いに参加いただいた方の感想から** 里山農園に初めて来られた方は、広くて手入れが大変でしょう、ということでした。周囲の希少植物や生き物の状況を説明していくと徐々に自然の豊かさを理解されて、新緑迫る風景に感激されていました。観察棟ではオオムラサキの幼虫が見られる予定でしたが、あいにく発見できませんでした。またお泊り観察会にもかなり興味をもって期待されていました。蛍観察では、山が全部ホタルの山に見えると表現されました。随分と大きな表現だったのですが、初めての体験ではそのように映ったのかもしれませんが、これだけ出現してくれるというのは、生育できる環境条件を残している証明です。自然のままの場所を大事に守っていかなくてはならないと思います。

●**夏原グラントから現地里山農園への視察日が決まる** 7月8日(土)現地視察に訪れるとの連絡が、つい先ほど入りました。この日はオオムラサキの観察会を予定しています。今年は少し天候が不順で観察

棟の榎の葉で幼虫が見つかっておらず、実は成虫が飛んでくれるか心配です。しかし見つけれられることを期待しています。大勢の皆さんのお越しをお待ちしています。当日までに伐採木の整理が完了させたいですね。

●6月25日第一回親子で遊ぼう学ぼう魚とり最終8月26日まで7回開催 参加者募集をまもなく開始。今年も地域性を取り入れて、行政区ごとに開催の予定です。内容で昨年好評でした木津川本川での川流れなどの取り組みも計画していますが、本川ではライフジャケットの着用が必須条件ですが、そのライフジャケットが必要数用意できない事態になっています。水の事故は絶対に起こしてはならないもので、大変頭を悩ましています。またもう一つは、スタッフの高齢化が進み安全の確保のために若手のお手伝いを強く大きく求めています。一人でも河川レンジャーの出現を願っています。レンジャーにならなくても、川好き男性や女性、お父さんお母さんが名乗り出ただけで大変ありがたいです。世話係がいなくなればこんな面白くたくさん遊び学べる取り組みがなくなってしまいます。世話係も引き受けていただきたいと思います。

●オオムラサキの観察会 7月1日 昨年は6月に観察会を行ってきましたが、発生がどうやら7月ごろではないだろうかということから、2週間遅らせて開催します。冬の幼虫観察会ではかなりのオオムラサキの幼虫が見つかっていますので、きっと成虫の飛翔が観察できる筈です。1日と8日の土曜日には本会顧問の桜谷先生がご都合をつけてご出席いただくことになっています。オオムラサキだけではなく夏の昆虫についても、いろいろ教わることができます。昆虫が大好きの子どもたちと大人の皆さんご参加ください。参加にあたっては長ズボンと帽子、手袋は必須です。熱いからと言って半袖や半ズボンでの参加はご遠慮ください。そして熱中症対策の水の準備も忘れず用意ください。山には売店も保健所もありませんので、前日は早く寝て、万全の態勢でご参加ください 待っています

●夜の生き物観察会（お泊り観察会）7月15日（日）今年里山の会で初めて取り組み「お泊り観察会」を予定しています。昼間に活動する生き物の観察会は幾度も行ってきましたが、里山農園に素晴らしい教育棟が完成して5年目になります。これまでに夜の生き物観察会と銘打って2回開催しました。いずれも8時30分の終了でした。これでは不十分なので、しっかり生き物を観察するにはお泊りを覚悟して観察会を行ってみることになりました。桜谷先生もご一緒にお付き合いご指導をいただくことになっています。皆さんの人生ではこうした新しい取り組みへの挑戦の機会はなかなか訪れてくれるものではありません。今からご用意ご準備ください。ご参加をお待ちしています。募集は10組と予定しています。

●近頃の木津川の水量は最低限の流量です。魚とりの開催に不安・掘削で魚の呼び込みを 6月25日（日）の親子で遊ぼう学ぼう魚とり開催のために開橋では予定地の水位が低下して予定地に魚が入れなくなっています。このままでは開催不可能なので、木津川出張所に水路の実現をお願いしています。14日現地を視察しました。これまでになく水位が低下しています。魚とり予定地まで、かなりの導水路の設置が必要です。木津川出張所に何とか掘削による導水路の実現を強くお願いしました。

●木津川の海産アユの遡上についての現地調査会とシンポ 17日（日）実施されます。ぜひご参加ください 1：午前10時集合南山城村山並みホール:恋路橋 現地観察調査会、 2：13:30 木津川市山城町:アスピア アユの住める川づくり検討会 竹門康弘 谷口順彦その他多数発表 こぞってご参加ください

●この夏のイベント「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」「京都府こどもの水辺」への後援依頼書を発送 木津川沿川各自治体と山城教育局や山城広域振興局などに郵送しました。

●16年度地域力再生プロジェクト事業が完了 交付金190万余が振り込まれました。事業が完了しましたことをお知らせします。

大事業にご協力いただきました皆様本当にお疲れでございました。ありがとうございました。次年度もよろしくお願ひします。